

けが  
汚れの代償

作詞 J'Soul (浅羽一)

頭に浮かんでくるものは 陳腐で安い台詞ばかり  
心に潜んでいるものは 脆さに怯える本音ばかり  
才能なんて浮かれた言葉に踊らされ 空っぽなバケツをひっくり返し  
何かがこぼれ出す事を祈った  
身勝手な自我が 認めたくない部分を視界から隠す  
臆病な性が すがりついた優しさに手錠をかける  
剥がれ落ちる仮面を両手で押さえながら  
惰性で約束された安定なんて いともたやすく崩れ去る  
自分でやっと掴み取ったものでさえ 前触れもなく碎け散る  
淡い期待は叶わないと分かっている 心の隅で身体を苦しめる  
力無くだらりと下がった右手は それでも夢の縁にその指をかけている

片目をつぶって見たものは 現実という名の真実  
両目をつぶって見たものは 未来という名の作り話  
肩書きなんて口先の響きにおだてられ ありもせぬ宝箱頭上にかざし  
誰かが手を伸ばす事を願った  
頭を振るたび 原色の翼で世界から飛び出した  
時間をさまよい 自分の中にある『唯一』を探した  
指の間から覗く素顔は隠したまま

■繰り返し

汚せないものを胸に抱きしめ生きていたって  
両手はふさがれて 目の前の何をも手に入れられはしなかった  
例えそれが悲しい答えだとしても 捨てる事でしか何かを求める方法はなかった

■繰り返し